

社会保険労務士稲門会会報

都の西北

第12号

平成20年9月10日 発行：社会保険労務士稲門会
発行人：藤原 久嗣 編集人：和田 泰明

第8回定期総会・母校で「提携講座」がスタート！ 平成20年6月14日

2008年6月14日（土）午後3時よりリーガロイヤルホテル東京にて「第8回定期総会」が開催されました。2001年7月に社会保険労務士稲門会が設立され、今年で8回目の開催となりますが、33名の会員が出席し、盛況のうちの開催となりました。



第1部・定期総会

第1部の定期総会は、和田泰明常任幹事（東京会）の司会、藤原久嗣会長の挨拶で開会し、議長に増山育男幹事（神奈川会）を選出した後、大南弘巳幹事長（東京会）、巻島剛常任幹事（東京会）からそれぞれ2007年度の事業報告及び決算報告が行われました。続いて両氏からそれぞれ、2008年度の事業計画案および予算案が提案され、いずれの議案も満場一致で可決されました。次に役員改選の議事に入り、香川忠成幹事（埼玉会）の常任幹事（厚生委員長）就任、石田新一氏（東京会）、市村剛史氏（東京会）の新幹事就任が、これも議案どおり満場一致で承認・可決されました。

また、藤原会長から、4土業合同での「提携講座」が母校・早稲田大学でスタートしたこと（本会報最終ページ参照）及び、当会の副会長で、会設立の当初から当会の発展に寄与されてこられた堀口利氏（東京会）の勇退（退会）のご報告がありました。

続いて、渡邊和洋常任幹事（東京会）から東京会の活動状況についての近況報告があり、住吉忠男副会長（東京会）の閉会の挨拶をもって第1部を終了しました。

※題字は小林昌尚顧問の筆によるものです。

「第8回定期総会」— 2008年6月14日（土）リーガロイヤルホテル東京にて



総会で挨拶を述べる藤原会長



総会に出席の会員の皆さん

第2部・懇親会

第2部懇親会は、引き続き同会場で、香川忠成常任幹事の司会、藤原会長の挨拶で開会し、来賓の早大総長室渉外局の廣瀬剛課長から、大学の近況報告と創立125周年記念事業の募金活動に対する当会の協力へのお礼があり、北隆一幹事（和歌山会）による乾杯の後、歓談に入りました。他士業稲門会や他大学社労士会の方々からもご祝辞をいただき、また新参加者の紹介等も行われ、多方面に交流を深めることができました。

最後に、廣瀬課長の音頭で、参加者全員による校歌の斉唱が行われた後、村上芳明副会長（東京会）による中締めと閉会の挨拶をもって、盛況の裡に無事お開きとなりました。



恒例の新会員の紹介



懇親会風景。会場のあちらこちらで歓談の花が咲きました。



懇親会会場から、大隈庭園越しに大隈講堂と大隈記念タワーを望む。

懇親会の席上、創立125周年記念事業の募金が当会藤原会長より早稲田大学総長室・廣瀬課長に手交されました。



ご出席いただいた来賓の方々

- ◆大学関係
早稲田大学総長室 渉外局課長 廣瀬 剛 様
- ◆他大学社会保険労務士会関係
桜友社会保険労務士会（学習院大学）
副会長 岡西 日出夫 様
社会保険労務士駿台会（明治大学）
副会長 新堀 英行 様
- ◆士業稲門会関係
税理士稲門会 副会長 山岸 徹 様
司法書士稲門会 常任理事 山岡 透 様

平成20年度 社会保険労務士稲門会・役員一覧

役名	氏名 ※（ ）内は担当	卒業年・所属会	役名	氏名 ※（ ）内は担当	卒業年・所属会
名誉会長	福島 誠一	昭11年卒-東京会	幹事	長部ひろみ (総務)	平2年卒-東京会
顧問	小林 昌尚	昭30年卒-東京会	//	神谷 俊夫	昭48年卒-群馬会
//	小松 茂樹	昭29年卒-東京会	//	北 隆一 (広報)	昭58年卒-和歌山会
//	坂井 俊一	昭36年卒-東京会	//	北村 修一	昭46年卒-長野会
会長	藤原 久嗣	昭40年卒-東京会	//	小泉 孝之	H1年卒-静岡会
副会長	笠原 正利	昭47年卒-埼玉会	//	近能 明正	昭58年卒-栃木会
//	住吉 忠男	昭36年卒-東京会	//	茶郷 稔 (厚生)	昭41年卒-東京会
//	中島 浩喜 (稲士会)	昭52年卒-愛知会	//	澤井 賢治 (広報)	昭42年卒-神奈川会
//	村上 芳明 (渉外)	昭41年卒-東京会	//	白岩 洋一	昭60年卒-東京会
幹事長	大南 弘巳 (稲士会)	昭51年卒-東京会	//	関口 光英 (広報)	昭59年卒-埼玉会
副幹事長	蒲生 秀晴 (研修)	平5年卒-東京会	//	花山 訓子 (会計)	平9年卒-東京会
//	常盤 有美 (総務)	昭42年卒-東京会	//	藤野 弘	昭40年卒-福井会
//	林 智子 (総務 稲士会)	昭54年卒-東京会	//	古本代志雄	昭49年卒-福岡会
常任幹事(新)	香川 忠成 (厚生)	昭58年卒-埼玉会	//	古谷 仁 (厚生)	昭60年卒-東京会
常任幹事	二宮 孝 (研修)	昭54年卒-東京会	//	増山 育男 (渉外)	昭49年卒-神奈川会
//	巻島 剛 (会計)	平3年卒-東京会	//	見方 雅教 (研修)	平11年卒-東京会
//	和田 泰明 (広報)	昭56年卒-東京会	//	御代田和典 (広報/研修)	昭53年卒-埼玉会
//	渡邊 和洋 (渉外)	昭46年卒-東京会	//	横山 弘美	昭55年卒-福岡会
幹事	石川 理恵 (厚生)	平1年卒-千葉会	//	若林 香苗	平5年卒-東京会
// (新)	石田 新一 (厚生)	平3年卒-東京会	//	若林 正清	昭55年卒-三重会
// (新)	市村 剛史 (総務)	平8年卒-東京会	//	若山 誉 (研修)	昭62年卒-神奈川会
//	大津 章敬	平6年卒-愛知会	会計監査	一杉 則夫	昭42年卒-東京会
//	小笠原浩之	昭59年卒-秋田会	//	中川 伸一	昭40年卒-東京会

新役員のご挨拶

石田 新一 新幹事 (東京会)

私は、平成3年に政治経済学部を卒業し、その後、精密機械メーカーに就職し、現在に至っております。入社後、工場における総務課勤務を経た後、現在、人事部で人事制度の企画・立案等を担当し、東京会には勤務登録しております。

最近、労働法令の改正が頻繁に行なわれており、勉強会やその後の懇親会等の席における先輩の方々からのお話は大変参考となるものが多く、また、刺激も与えていただき、改めて御礼申し上げます。

卒業後、大学に行くことは、これまでは滅多になかったのですが、稲門会に参加させていただいてからは、会社での仕事が行き詰まったときなど、自分が一時期を過ごした場所を通り過ぎ、仮に、学生の頃の自分が今の自分と会ったらどう思うかとか、その逆のこととかも考えたりいたしまして、そのようなきっかけを提供頂いた稲門会に感謝しております。

今般、幹事を仰せつかりました。自分なりに精一杯努力していく所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。

市村 剛史 新幹事 (東京会)

平成8年法学部卒の市村と申します。大学卒業後は、食品メーカーの営業職をしておりますが、その後社会保険労務士の資格を取得して現在は当会の藤原会長が所長を務めるヒューマンテック経営研究所に勤務しております。

これまで会の事務局を担当させていただいておりましたが、今年度より幹事として会の運営に直接関わることになり、大変嬉しく思っております。

さて、今年度の幹事の方々の卒年を見てみますと、平成卒の幹事の方の数が今年については10名を超えました。最近入会される方でも平成卒の方が多くなってきています。社会保険労務士という同じ志をもつ者同士が、同窓という親近感を共有しながら世代を超えて交流することができる当会は、自分にとって本当に有意義な場であることを改めて感じている次第です。

今まで幹事の諸先輩の方々が築いてきた会の伝統や雰囲気大切にしながら、会のますますの発展のために微力ながら努力してまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

当会常任幹事で、人事コンサルタントとして、企業コンサルティング・執筆・セミナーなど多岐にわたり活躍中の二宮孝氏より、広報委員会からの要請に基づき、人事マネジメント上のテーマとして昨今注目の「ワークライフバランス」と「ダイバーシティマネジメント」に関してご寄稿いただきました。

会員寄稿

「雇用の多様化時代における企業の対応」 —日本版WLBとDMの意味するもの



二宮 孝
(株)パーソナル・ブレイン代表取締役
昭和54年法学部卒/東京会)

1. ワークライフバランスとは

最近、「ワークライフバランス」という言葉をよく聞きます。

「ワークライフバランス」とは、1980年代の終わり頃に欧米で発生したもので、もともとは育児と仕事の両立を中心に捉えられていましたが、子供の有無や男女に関わらず、広く働きやすい仕組みへと、広く解釈されるようになってきました。

日本においては、最近になって「ライフ」の意味を「家庭」や「育児」だけでなく、仕事以外の生活における趣味などのやりたいことや「介護」、学校や地域でのコミュニティ活動も含めるものと考えられるようになってきており、個々の多様な価値観を尊重しつつ、それぞれが働きやすい仕組みを作ることが求められています。

では、この「ワークライフバランス」に対する国の施策とはどのようなものがあるのでしょうか。

内閣府は平成19年12月、「子どもと家族を応援する日本」重点戦略を発表しました。これは「就労と結婚・出産・子育ての二者択一構造」の解決を目指したもので、①働き方の改革による仕事と生活の調和の実現と、②親の就労と子どもの育成の両立、家庭における子育てを包括的に支援する枠組み（社会的基盤）の構築の2つを車の両輪として、速やかに軌道に乗せていこうとしたものです。前者においては、「ワークライフ・バランス憲章」と「仕事と生活の調和推進のための行動指針」を策定し、全ての就業希望者にとって充実した働き方が可能となるよう就業率を向上させ、さらに豊かな家庭地域生活を両立するように労働時間の短縮と合わせて取り組むことが、10年後の目指すべき労働市場の姿であるとしています。

また厚生労働省では、2003年より、「次世代育成支援対策推進法」に基づき、各企業が少子化対策や子育て支援策を「一般事業主行動計画」として届出を行い、それに基づいて一定の成果をあげた場合の認定証として「くるみんマーク」を付与しています。

また、財団法人21世紀職業財団では、2007年より「WLB（ワークライフバランス）認証制度」を導入し、従業員を大事にしている企業として認定された企業への認証マークの使用を認めています。

次に、企業としては「ワークライフバランス」を導入・浸透させるための施策として、どのようなものがあるのでしょうか。

まず重要なのは、トップから末端の社員に至るまでの意識改革を進めていくことです。仕事と仕事以外の時間をバランスよく持つことは、業務を進めていくうえでも良い効果を及ぼすということを意識の面から変えていくことを目指すものです。

次に、時間管理の適正化の問題です。これはいうまでもなく社会問題にもなっている長時間労働一過重労働からの脱却に他なりません。

3番目に挙げられるのは、業務の進め方そのものからの見直しです。組織のフラット化、稟議制度、会議時間の短縮や情報共有化によるペーパーレスの推進など、業務改善に関わる全てについて見直しを行い、福利厚生制度に限定されることなく、意識改革も含めて労使ともにできることから少しずつでも進めていくことに他なりません。

2. ダイバーシティマネジメントとは

前項1の「ワークライフバランス」は、個人ごとに仕事の位置づけから見直し、仕事以外での自己も高めてそれぞれバランスを保っていくことが実りある人生に結びつくという、個人と企業の価値観の変革を目指すものであり、人材採用戦略の一端を形成するものですが、もう一端を担うのが、欧米をさきがけとした多様な人材を活かす「ダイバーシティマネジメント」です。

「ダイバーシティ」には、多様性・相違点・変化などの意味があり、アメリカにおいて1990年代の初めより、社会的倫理観の高まりと機会均等を目指して発生したものです。性別・年齢・

人種・国籍・宗教などによる差別の禁止を前提として、能力による多様な人材の登用を行い、競争力を高めていくことがねらいとなっています。

このダイバーシティ志向の風潮を受けて、一人ひとりの価値観や生き方の多様化を認めた上で、以下に挙げるように人事制度を再構築することが求められてきています。

- ①複線型人事制度...個々の能力と適性、希望に沿った多様型の人事制度です。
- ②女性の積極的活用...男女の性的分業を解放するジェンダーフリーの考え方が一般的になり、コア人材としての採用が進めていくものです。→ 図表1参照
- ③パートタイマーの多様化...従業員構成のなかでもパートタイマーの増加はもっとも顕著な傾向となっていますが、従来型のみならず、専門性の高いパートや短時間正社員など新しい形態も開拓していくことです。→ 図表2参照
- ④高齢者の活用...少子高齢化が進むなかでは、高齢者の活用が注目されています。
- ⑤フレックスタイム制の導入...1か月の総労働時間の範囲内で、個々の社員が本人の自由な意思のもとに、日々の始業、終業を選択できるようにします。
- ⑥在宅勤務制度...育児や介護などの個人的事情を鑑みて、柔軟に働きたいというニーズに応えたものです。ITを活用した場所や時間にとらわれない柔軟な働き方としては、サテライトオフィスなどもあります。
- ⑦選択型福利厚生制度（カフェテリアプラン）...従来からあるメニューだけではなく、旅行の補助やホームヘルパーの派遣など、選択肢を多くすることが焦点となります。

また、ダイバーシティを推進、浸透させていくには、顧客（社会）、企業、働く側が、対立という立場ではなく、コラボレーション（協働作業）により、築き上げていくことが肝要です。

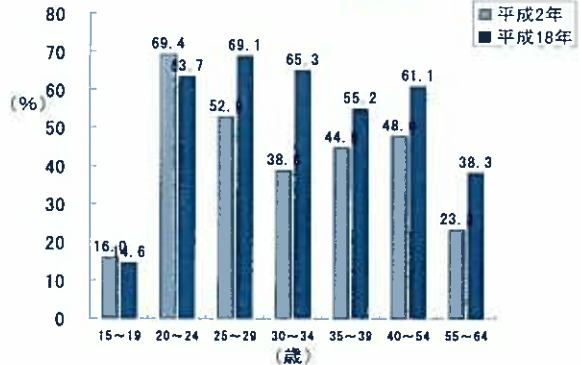
これらのポイントとしては以下の通りです。

- ①新たな人事戦略として選択肢を広く持つこと...専門職としての外国人雇用やインターンシップ制の採用もその選択肢の1つと成りうるものです。
- ②顧客ニーズへ迅速かつ効果的に対応すること...例えば商品開発において、役職や年齢・性別を超えたチームを形成して研究することなどです。
- ③働く側のニーズをつかむ...働く側のライフスタイルからも、ニーズを正確に把握することです。
- ④労働環境整備などのコスト配分を計画的に進めること...子どもを持つ女性の活用を見ても、育児施設の設置や外部施設の活用、育児休暇の取得など、コスト増に結びつくことがある意味では避けられないという見方も必要です。これを政府の助成制度の活用なども含めて中長期視点から計画的に進めることが大切です。
- ⑤従業員の意識改革、教育を進めること...個々の価値観を重視するとともに、他人の価値観も尊重する姿勢を前提として、従業員相互のコミュニケーションを密にし、さらに異文化への理解を深めるなど意識改革から進めていくことが必要となります。

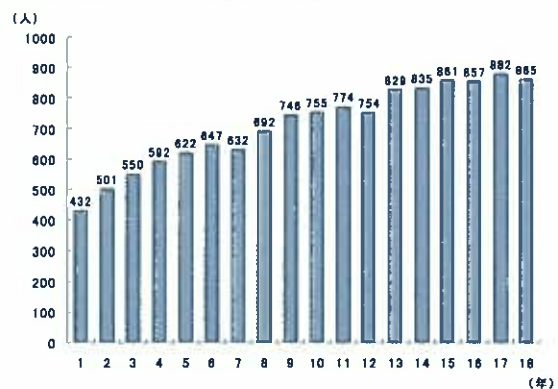
3. 求められる企業の対応

昨今の経営環境の変化は、従来の人事管理では対応できなくなってきているのが現状です。そこで、個人は自ら希望するライフスタイルを実現でき、かつ、企業は優秀な人材を確保し、その定着化と心身の安定性の高まりから、企業の発展にまで結びつく期待が持てるワークライフバランスと、異質異能の人材を活かすダイバーシティマネジメントを推進することが、未知の変化にも迅速に対応できる人材の確保にもつながり、均等な人材を揃えるよりもリスクを軽減できるという総合的なメリットに結びついていくと考えられます。

◆ 図表1 / 女性労働者の年齢別雇用者比率（非農林業）



◆ 図表2 / パート数の推移



— 2008年3月15日(土) 渋谷・勤労福祉会館

研修委員長・二宮 孝

2008年3月15日(土) 午後2時より5時まで、渋谷区神南にある渋谷区立勤労福祉会館の第2洋室において、第5回の勉強会が開催されました。

テーマは「ポスト適格年金—中小企業に社労士が助言するための新企業年金の選択とその対策」で、当会常任幹事の香川 忠成 氏(開業:埼玉会所属)に講師を勤めていただきました。

香川氏は、開業前は生命保険相互会社での営業の経験があり、オリジナルな資料とともに実体験に基づいた裏話も織り交ぜての、実務に役立つセミナーとなりました。

内容は、平成24年の適格年金の廃止を見据えての法的な解釈や複数の選択肢のそれぞれの特徴とポイント解説でした。とくに、われわれ社会保険労務士にとって顧問先の中心でもある中小企業において、確定給付企業年金や中小企業退職金共済への移行策について、わかりやすい言葉で具体的な説明があり、この難しい課題へ我々が今後どのようにアプローチしていけばよいのか、きっかけの場になったかと思えます。(勉強会16名参加)

勉強会終了後は、会場近くの沖縄料理「ちゅらり」で、香川氏を囲み、藤原会長も出席のうえで、皆で懇親を深めました。(14名参加)



講義中の香川氏(つい最近までバリバリの現役生保会社営業マン 兼 企業年金担当!)



「第6回・勉強会」開催のご案内 9月20日(土) 豊島区立生活産業プラザ

次回の勉強会では、「過労死の労災認定」をテーマにとりあげます。

次回第6回の勉強会は、最近社会的にも大きな問題となっている過労死の労災認定を演題として、この問題に造詣の深い当会幹事長の大南弘巳氏に講師を勤めて頂くことになりました。今回も多くの方に参加して頂きたいと存じます。

記

- 【日 時】 9月20日(土) 14:00~17:00 (終了後には懇親会を予定しています)
- 【会 場】 豊島区立生活産業プラザ 7階会議室1
豊島区東池袋1-20-15 (TEL 03-5992-7011)
- 【テーマ】 「現場監督の過労死 “業務上認定までの過程”」
- 【講 師】 大南 弘巳 幹事長(豊島区で開業)
- 【参加費】 1,500円(懇親会は4,000円程度)当日徴収します。
- 【申込先】 二宮 孝 TEL: 03-3406-5605
Fax: 03-3406-5396
Mail: ninomiya@personnel-brain.co.jp

イベント

本会関連行事のご案内 会員の皆様はどうか奮ってご参加ください!

「稲士会」第4回定期総会・講演会 10月18日(土) リーガロイヤルホテル東京

4つの士業稲門会が連絡して結成した「稲士会」の第4回定期総会及び講演会を、下記のとおり開催します。本年は、当社会保険労務士稲門会が「稲士会」の幹事会である年でもありません。会員の皆様は奮ってご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

【会場】 リーガロイヤルホテル東京 新宿区戸塚町1-104-19
【日時】 平成20年10月18日(土) 午後1時30分～5時30分

第1部 総会(午後1時30分～2時30分) 2階サファイア
講演会(午後2時30分～3時30分) 2階サファイア

講師: 松瀬 学 氏

(五輪等スポーツフィールドを中心としたノンフィクションライター
元共同通信社ニューヨーク支局勤務・早稲田大学ラグビー部出身)

演題: 「北京オリンピックの光と影」

第2部 懇親会(午後3時30分～5時30分) 2階エメラルド

【会費】 10,000円

【連絡先】 「社会保険労務士稲門会事務局」(TEL 03-3543-6326:市村)まで

2008 稲門祭 & HOME COMING DAY 10月26日(日) 早大キャンパス

今年もまた「ホームカミングデー」が母校において開催されます。校友による、校友のための祭典「稲門祭」との同日開催となるホームカミングデーは、校友に、大学の近況に触れ、懐かしい恩師や学友と再会し、交流・親睦を深めていただくためのものです。

社労士稲門会は、例年どおり本部キャンパス大隈銅像近くに「年金労務相談コーナー」を出店(当日午前10時～午後4時)し、今年もまた業務知識を役立てて校友との交流を図りたいと思います。

我が会は、2003年のホームカミングデーに士業稲門会として初めて出店しましたが、6回目を迎える今年は、より中身の濃い、校友の方のためになる相談を目指して頑張りたいと思います。

社労士稲門会では毎年、相談員・お手伝いのボランティアを募集をしています。年金労務相談コーナーについてのお問い合わせは、当会事務局まで(連絡先は会報最終頁参照)、ホームカミングデーの詳細は <http://www.waseda.jp/alumni/hcd/index.html> をご覧ください。



2007年H.C.D.での
「年金労務相談」風景

「第8回 講演と懇親の夕べ」のご案内 11月29日(土) ホテル銀座ラフィナート

「第8回 講演と懇親の夕べ」を、今年も下記のとおり開催しますので、是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

【日時】 平成20年11月29日(土) 午後3時～6時30分

第1部 講演会(午後3時～4時20分) 講師: 藤川 久昭 氏 (青山学院大学法学部教授)
演題: 「労働法の原点」(仮題)

第2部 懇親会(午後4時30分～6時30分)

【会場】 ホテル銀座ラフィナート 中央区銀座1-26-1 TEL 03-3561-0777

(東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅7番出口より徒歩3分、銀座線京橋駅1番出口より徒歩5分、都営地下鉄浅草線宝町駅A1出口より徒歩1分)

【会費】 6,000円

【連絡先】 「社会保険労務士稲門会事務局」(TEL 03-3543-6326:市村)まで
※ 詳細は厚生委員会より追って皆様にご通知いたします。

早稲田便り

4土業分担での学生向け講座がスタート —「提携講座」実施のご報告

2008年4月より早稲田大学において、社会保険労務士・行政書士・司法書士・税理士の土業各稲門会が提携して結成した4土業稲門会「稲土会」による提携講座がスタートしました。講座の名称は、「企業法務概論」です。この講座の趣旨は、法律と実務の専門家である各土業の会員が大学の教壇に立ち、企業実務の知識を学生に伝授するとともに、それぞれの土業の業務の内容や社会的に負っている役割をも学生諸君に伝えていくというものです。

この講座は、どの学部にも所属する学生でも学年や専攻分野にとらわれずに履修することができ、通常の授業と同様に科目登録・単位制（定員30名・付与単位年4単位）をとっています。授業は、14号館406号教室にて、火曜日の14時40分から行われています。

講義は前後期各14回、計28回で、社会保険労務士稲門会はこのうち7回を担当しますが、これまでに前期3回（7月15日、22日、29日）の割り当て分の講義を終了しました。後期は、12月16日、1月13日、20日、27日の4回です。

前期講義は、藤原久嗣会長と大南弘巳幹事長がそれぞれ分担して講師を務めました。7月22日と29日は前期定期試験期間にもかかわらず、出席した学生諸君は熱心に聴講していました。後期は、林智子副幹事長と渡邊和洋幹事が講師を務めます。当会々員も”飛び入り”聴講が可能ですが、事前に当会事務局にお問い合わせください。

この4土業が協働して早稲田大学で行う提携講座は、来年以降もこれを継続し、ゆくゆくは年間を通して各土業がそれぞれ単独で講座を持てるようなかたちにしたいと、今回の講座を企画した「稲土会」では考えています。

そのためにも、今回の講座が、学生諸君にとって実り多いものとなることを願ってやみません。



早稲田大学
14号館
(1998年
竣工)



藤原会長による講義の様相
(写真上・下とも)

◆◆◆◆ 社労士稲門会への入会方法 ◆◆◆◆

社会保険労務士稲門会事務局にまずご一報ください。
事務局から入会申込書をお送りいたします。入会申込書をご提出いただいた後、改めて、年会費（5,000円）振込用紙、会則、会員名簿をお送りいたします。
連絡先：下記、「事務局」まで URL: <http://www.sr-waseda.com>

新会員をご紹介下さい！！

仲間を探しています。社会保険労務士としてのつながりの輪を日本中に大きく広げていきたいと思っております。是非ご協力下さい。

【発行】社会保険労務士稲門会

《事務局所在地》
〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-4
共同ビル新銀座5階
ヒューマンテック経営研究所内
TEL 03-3543-6326 FAX 03-3543-6169

編集後記

おかげさまで無事に会報第12号を発行することができました。ご指導いただいた役員、幹事、広報委員の皆さん、そして何よりもご寄稿いただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。（和田）